

クロノロジー型危機管理情報共有システム

# 災害ネット

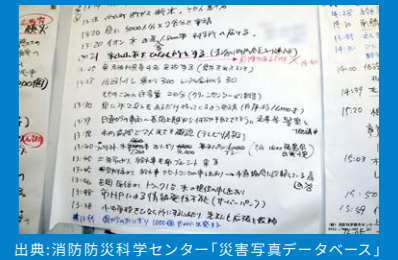


災害時にどこの会社でも行われている  
“クロノロジー(時系列)で記録をする”  
という行為をそのままシステム化。  
大量に押し寄せる情報の収集・共有  
をシンプルな操作で実現します。

クロノロジー（時系列）に沿って記録するだけで、今、何が起きているのか、リアルタイムに把握。ありそうでなかった災害情報収集・共有ツール。

## クロノロジー(Chronology)

情報を時系列に並べたもの。また、情報を時系列に沿ってホワイトボードなどに書き出し、整理する手法。自衛隊などでは古くから利用されており、緊急時の情報管理方法として定着しています。



出典:消防防災科学センター「災害写真データベース」

### 想定課題

### Before

災害時、現場・各部署から大量の情報がさまざまな手段で報告されるため、事務局は情報処理に追われ、結果的に経営層への報告が遅れ、意思決定が遅れる、重要情報を見落とすといった問題が発生します。



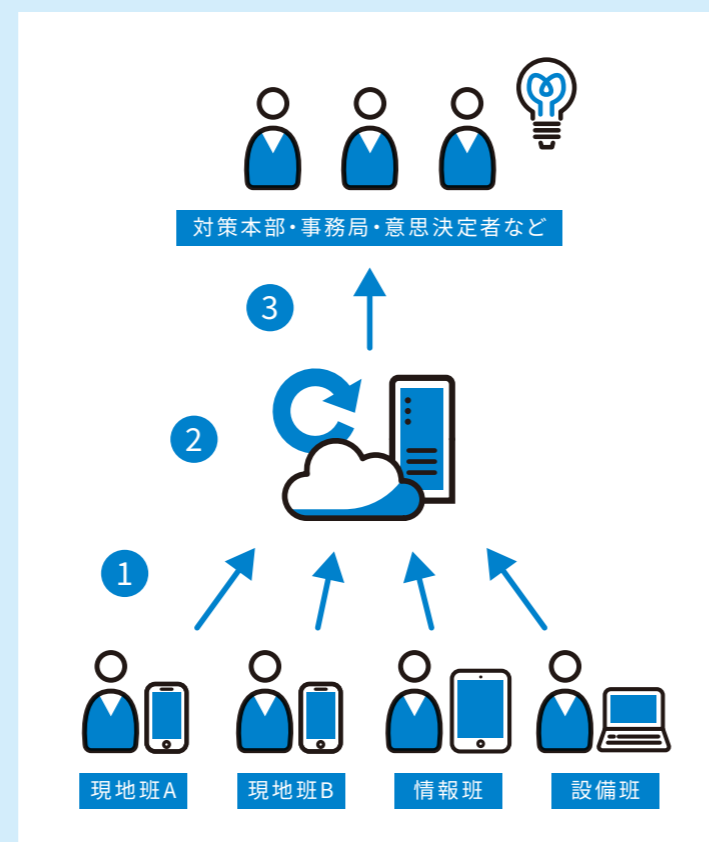
情報が錯綜する災害対策本部



出典:消防防災科学センター「災害写真データベース」

## シンプルな仕組みであたただし現場でも簡単に情報を一元化・見える化

災害情報を時系列に沿ってホワイトボードに書き出す作業(クロノロジー)は、どの業種・業態でも定着している手法です。これをそのままシステム化することで、現場に負担をかけることなく、リアルタイムな情報共有を実現します。



今、何が起きているかリアルタイムに把握できる

一元化された情報をリアルタイムに共有

サーバーに時系列で全社の情報を一元化

PC・スマートフォンから時系列に沿って入力

### 導入効果

### After

入ってきた情報を、入ってきたまま、時系列で入力するだけのシンプルな操作なので、情報の収集・共有にかかる時間と労力を大幅に削減することができます。



ボトルネックポイントを改善。全社員の時間と労力が削減され、さまざまな効果を生み出します。

大量の情報が時系列でまとまる

最新情報を全社員で見られる

自宅からも状況把握できる

報告資料がすぐ作れる

意思決定が早く・正確になる

データから振り返りができる

国・製造業・鉄道業・ライフライン事業・金融業など、さまざまな業界のお客さまに採用いただき、経験と実績を重ねています。



